



# こっこ通信7月号



キッズルームこっこ保育園

令和2年6月30日発行

すっかりしないお天気が続いています。それでも、子どもたちはお日さまを求めて晴れ間には「外、そと、お外…」と散歩を楽しんでいます。

コロナ対策へのご協力、ありがとうございます。7月からは、新しい生活に慣れつつ、ゆっくり日常が戻ってくる期間にはあります。

産休や育休のご家庭への協力依頼も終了としたいと考えています。

7月からは、全てのご家庭に以下のご協力をお願いします。(密にならない工夫、感染症防止対策のための対応です)

①ご家庭での保育が可能なお休みをお願いします。

②早帰りができる日は早めのお迎えをお願いします。

個々にご相談に対応をしていきますので、職員にお声かけください。

また、熱中症対策として、園内、外でお子さまのマスク着用時間を短縮していきます。

職員も園外での活動時適時マスクの着用とさせていただきます。

ご理解、ご協力をお願いします。

## 《 「イヤイヤ」と「だめだめ」はつながっている！？ 》

一歳を過ぎた頃からしばらくの間、「イヤだ」の意思表示。俗に言う「イヤイヤ期」と言われますね(今は「自分で期」とも言います)。ないほうがいいなあ。と思われるかもしれませんが、成長の過程なので、大半のお子さまにあること…。自分の意思を伝える練習の期間ともいえると思います。

この「イヤイヤ」と密接に関係があるのが大人からの「だめ！」の声かけや行動の制限。多ければ多いほど「イヤイヤ」の場面も増えてきます。

そこで、考えていただきたいのは「なにが絶対だめ！」なことなのか？ということ。年齢相応の声かけは必要ですが「だめだし」の基本は大きくなったら困ること。や、本人の身に危険なこと。の2つだけです。

いくら泥んこになったって、ティッシュペーパーの箱が空っぽになったって…(どうしてもやめてほしいならティッシュの箱は手の届かないところに置きましょう)。食事は座って食べるルール。小さくても守ってもらいたいこと。大きくなったら自然にできるようになることは決してありません。「だめ！」と言わなくても、しっかり伝えましょう。わかるようになります。上手く伝わらないなあ…。と感じたときは是非、職員に声をかけてくださいね。

一緒によい方法を考えていきたいと思えます。

こんなこともあったなあ……。と思える日が来ることを信じて

## 給食費集金日

8月分の給食費集金日は7月27日(月)～30日(木)です。

集金袋は7月22日以降にお渡しします。

集金日締め切り日以降は振り込みをお願いしています。ご協力をお願い致します。

## 7月の予定

月	火	水	木	金	土
		1	2	3 <small>♪4-5</small>	4
6	7 たなぼた 	8 <small>♪3</small>	9	10 <small>♪4-5</small>	11
13	14 <small>♪3</small>	15	16	17 <small>♪4-5</small>	18
20 内科健診 (0歳児)	21 <small>♪3</small>	22	23	24	25
27	28 <small>♪3</small>	29	30	31 <small>♪4-5</small>	



- ・ひとりひとりの体調や生活リズムに配慮し、十分な水分補給や休息を取り健康に過ごす。
- ・シャワーに慣れて、気持ち良さを味わう。
- ・水遊びを通して、さまざまな感触を保育者と一緒に楽しむ。

慣らし保育も無事に終了し、今年度がいよいよスタートしました。すっかり涙も見られなくなり、かわいい声と笑顔、ずり這いやハイハイ、あんよの行動やしぐさ、ひとつひとつが微笑ましい毎日です。

よく食べ、よく眠り、よく遊ぶいちご組の子ども達。体調面に気をつけながら、夏の暑さに負けず水遊びを少しずつ楽しめたらと思っています。

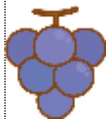


- ・保育園生活に慣れ、安心して過ごす。
- ・好きな遊びを見つける。
- ・夏の遊び(水遊び等)に心地よさを感じる。

6月は徐々に子ども達の人数も増えてきました。久しぶりの友達にとっても嬉しそうでした。公園では砂遊び、探検、はっぱ探し・・・好きなことが見つけられるようになってきました。公園大好きばなな組さんです。

暑い日にはお水に触れたりもして、とても気持ちよさそうでしたよ。

今月も公園あそび、水遊び、思い切り楽しんで元気に過ごしたいです。



- ・元気いっぱい水遊びを楽しむ。
- ・友達と関わりを持って遊ぶ。

長い休園、久しぶりの登園。キョトンとした表情や泣き顔も・・・。久しぶりに会った子ども達は言葉も増え、お話が上手になってとても成長したなあと感じました。

クラスでは誰かがおもちゃを出すと、みんなで同じものを使い遊んでいます。また絵本を読むと、指差して「〇〇～」と教えてくれます。

散歩では虫探しや追いかっこがブームです。移動中の手つなぎや道路の横断も手を挙げて渡れるようになってきました。少しずつお友達と関わりを持って遊べるようになってきたぶどう組さんです。



- ・夏ならではの遊びを楽しみ、気持ち良く過ごしていく。
- ・適度な休息をとり入れて、元気に遊ぶ。

6月初めは大人も子どもも新しい生活に慣れることに時間を取っていきました。自分で支度をして・・・水筒をもってのお散歩・・・幼児さんの食器・・・と。2週間が過ぎたときには、すっかり慣れて、保育者に自信たっぷりの表情を見せてくれています。

お友達との関わりも日を追うごとに広がり、名前も覚えて楽しそうに会話も増えています。これからこの15名と過ごしていくことが楽しみです。



- ・水遊びやプール遊びを思い切り楽しむ。
- ・夏の遊びの約束や身支度の仕方を知り、自分でしようとする。
- ・水分補給や休息をとり、健康で快適に過ごす。

6月から休園解除となりお友達と久しぶりに会い、共に遊び再会を喜んでいました。仲間ですね。「〇〇ちゃんはどうしているのかなあ」との声も聞かれ、互いを思いやる姿も見られます。

屋上ではキュウリ、ピーマンがすくすくと育ち、先日初収穫でした。「赤ちゃんキュウリがこんなに大きくなった！」と感動の声も上がっていました。キュウリを給食室に運び、どんな形になるんだろう？とガラス越しから給食室をじっと見てスティック状に切ったものを見せてもらいました。いろいろな発見がありますね。

今月は水遊び、プールで夏の遊びを存分に楽しんでいきたいと思います。



- ・夏ならではの遊びを保育者や友達と一緒に思い切り楽しむ。
- ・自分なりの目標に向かって努力し、保育者に見守られたり友達と協力しながら楽しんで挑戦していく。

ひまわり組での園生活が再スタートし「今日は何したい？」と尋ねると、公園での鬼ごっこや遊具、屋上での水遊び、室内でドッチボール、テラスで縄跳びや綱登り、季節の製作や手作りおもちゃと次々出てくるアイディア。毎日時間が足りないほど、お友達と一緒にやりたいことがたくさんあるようです。

公園で虫探しや散歩先で咲く紫陽花を楽しむ一方、プランターに植えたオクラがうまく育たなかったり、カブトムシの幼虫が死んでしまったり・・・身近な自然とその命の大切さに触れた子ども達。また一つ大きくなりました。

夏祭りが中止となってしまった分、それ以上にワクワクすることを一緒に探し、夏ならではの遊びを思う存分楽しんでいきたいと思っています。